



2021年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月13日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
 コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 康彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務部長 (氏名) 霜田 正樹 TEL 03-3456-0561
 定時株主総会開催予定日 2021年5月26日 有価証券報告書提出予定日 2021年5月27日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期の連結業績(2020年3月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	9,143	25.1	831		588		848	
2020年2月期	12,207	6.2	449	51.8	405	54.4	283	53.9

(注) 包括利益 2021年2月期 782百万円 (%) 2020年2月期 216百万円 (58.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	404.93		24.2	3.8	9.1
2020年2月期	135.31		7.4	2.9	3.7

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 百万円 2020年2月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	15,550	3,090	19.9	1,474.67
2020年2月期	15,524	3,925	25.3	1,873.06

(参考) 自己資本 2021年2月期 3,090百万円 2020年2月期 3,925百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	405	2,077	1,872	959
2020年2月期	377	3,223	2,934	754

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期		0.00		25.00	25.00	52	18.5	1.4
2021年2月期		0.00		0.00	0.00			
2022年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,054	20.2	375		304		305		145.91
通期	9,276	1.5	48		18		101		48.64

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期	2,099,376 株	2020年2月期	2,099,376 株
期末自己株式数	2021年2月期	3,520 株	2020年2月期	3,520 株
期中平均株式数	2021年2月期	2,095,856 株	2020年2月期	2,095,856 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績(2020年3月1日～2021年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	6,842	31.3	964		710		935	
2020年2月期	9,956	6.3	303	55.1	262	59.2	180	58.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期	446.17	
2020年2月期	86.27	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年2月期	13,904		2,667		19.2		1,272.75	
2020年2月期	13,881		3,622		26.1		1,728.51	

(参考) 自己資本 2021年2月期 2,667百万円 2020年2月期 3,622百万円

2. 2022年2月期の個別業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	3,182	14.9	255		270		円 銭 129.22
通期	6,947	1.5	244		264		126.24

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年3月1日～2021年2月28日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、景気は急速に悪化しました。国内では緊急事態宣言が2020年4月と2021年1月に発出され、欧米各国でも都市封鎖(ロックダウン)が繰り返されており、ワクチン接種が開始されたものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

化粧品業界におきましても、メイクアップ製品を中心に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けております。国内では2020年2月以降、商業施設の営業時間短縮・臨時休業や、消費者の外出自粛ならびにマスク着用の常態化により個人消費が減退、さらに、わが国への入国規制強化による訪日外国人旅行者の急減に伴うインバウンド需要の激減により、化粧品需要は大きく減少いたしました。海外においても、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響等により化粧品需要は大きく減少、先行き不透明な状況が続いておりますが、中国市場では経済活動の再開によって消費は回復に転じており、地域による跛行性が見られる状況です。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、国内では化粧品需要の減少と2度にわたる政府の緊急事態宣言発出を受け、国内生産拠点ならびに本社において在宅勤務や生産縮小などの対応を余儀なくされ、また、フランス拠点におきましても政府による都市封鎖(ロックダウン)などの影響で工場操業度が一時著しく低下するなど、グループ全体の事業活動に多大な影響が及びました。

当社グループでは、2017年度からスタートした「中期事業戦略ビジョン(2017-2021)」のもと、「生産能力の増強」ならびにグループシナジーの創出を通じた「グローバル化の加速化」の実現に取り組みましたが、想定外の新型コロナウイルス感染症拡大と影響の長期化により、厳しい環境のもとで事業活動を強いられております。「生産能力の増強」施策として取り組んだ「つくば工場第3期拡張工事」や海外子会社における設備投資によって実現した生産能力を活用しきれない状況が続いており、2021年3月には吹田工場閉鎖(2021年8月末)の決定を余儀なくされております。

当面は、新型コロナウイルス感染症下における化粧動向を反映した処方・生産技術の開発ならびに品質や安全性の向上に加え、ニューノーマルの時代に即した事業戦略の再構築などを通じて、業績の速やかな回復に向け更なる努力を重ねてまいります。

以上の結果、当連結会計年度における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は、①新型コロナウイルス感染症対策としての外出自粛やマスク着用の常態化によるメイクアップ化粧品の消費需要の減少、②訪日外国人旅行者によるインバウンド需要の激減、③世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による海外向け製品受注の減少、ならびに④新製品企画の先送りの影響が大きく、フランス連結子会社は売上高ほぼ横ばいを保ったものの、連結では前期比25.1%減の9,143百万円となりました。

利益面では、売上高の大幅減少に加えて「つくば工場第3期拡張工事」竣工に伴う諸費用の増加等により営業損失は831百万円(前期は営業利益449百万円)、補助金収入285百万円等の計上により経常損失は588百万円(前期は経常利益405百万円)となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は、吹田工場閉鎖に伴う128百万円の特別損失の計上や、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額を88百万円計上したこと等により、848百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益283百万円)となりました。

当連結会計年度における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

上記のとおり新型コロナウイルス感染症の拡大によって国内外の化粧品需要が急速に減少した結果、国内・海外化粧品メーカー各社からの受注が減少したことから、売上高は前期比31.3%減の6,842百万円となりました。利益面では、売上高の大幅減少に加えて「つくば工場第3期拡張工事」竣工に伴う諸費用の増加等により、営業損失964百万円(前期は営業利益303百万円)となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.(以下「テブニエ社」という)の所在する欧州は、当連結会計年度(1～12月)において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で景気が低迷するなかで、テブニエ社も一時化粧品製造ラインの操業休止を余儀なくされましたが、堅調な受注と生産を反映し、売上高は前期比0.4%減の2,372百万円とほぼ横ばいを保ちました。利益面では、設備投資に伴う諸費用の増加等により、営業利益は前期比11.7%減の123百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、4,719百万円(前連結会計年度末は5,731百万円)となり、前連結会計年度末に比べ1,011百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が243百万円増加し、受取手形及び売掛金が722百万円、電子記録債権が59百万円、仕掛品が61百万円、原材料及び貯蔵品が147百万円、その他が237百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、10,831百万円(前連結会計年度末は9,793百万円)となり、前連結会計年度末に比べ1,038百万円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物が147百万円、機械装置及び運搬具が169百万円、土地が854百万円、投資有価証券が49百万円増加し、建設仮勘定が219百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、3,547百万円(前連結会計年度末は4,363百万円)となり、前連結会計年度末に比べ815百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が403百万円増加し、支払手形及び買掛金が324百万円、電子記録債務が450百万円、未払金が358百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、8,912百万円(前連結会計年度末は7,235百万円)となり、前連結会計年度末に比べ1,676百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が1,649百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、3,090百万円(前連結会計年度末は3,925百万円)となり、前連結会計年度末に比べ834百万円減少いたしました。これは主に、株主資本が、親会社株主に帰属する当期純損失848百万円等により901百万円減少し、その他の包括利益累計額が66百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は19.9%(前連結会計年度末は25.3%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は959百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、405百万円(前連結会計年度は377百万円の増加)となりました。これは主に、減価償却費812百万円、売上債権の減少額794百万円、たな卸資産の減少額246百万円、未払消費税等の増加額320百万円等による増加と、税金等調整前当期純損失717百万円、仕入債務の減少額783百万円、未払金の減少額329百万円等による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、2,077百万円(前連結会計年度は3,223百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,902百万円、長期貸付けによる支出113百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、1,872百万円(前連結会計年度は2,934百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入れによる収入3,460百万円と長期借入金の返済による支出1,508百万円、リース債務の返済による支出101百万円、配当金の支払額52百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の経営環境におきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い、国内経済の停滞にとどまらず、中国等の一部の地域を除く世界経済全体でマイナス影響が継続する可能性があります。化粧品市場につきましても、新型コロナウイルス感染症の拡散防止に向けた各国各種の対策の結果、外出自粛・規制による化粧頻度の低下、マスク着用の常態化、海外旅行者の激減によるインバウンド需要・免税店売上の低下、などの様々な側面で需要低迷が継続するものと予想されます。

このような厳しい市場環境のもと、当社グループでは2019年に竣工した「つくば工場第3期拡張工事」や海外子会社における設備投資による生産能力の拡大を活かせない状況が続いておりますが、新型コロナウイルス感染症下における化粧動向を反映した処方・生産技術の開発や、吹田工場の閉鎖を含む各種コスト圧縮等の対策を着実に進めてまいる所存です。

次期(2022年2月期)の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明な状況下ではありますが、特に第1、第2四半期連結期間は、新型コロナウイルス感染症の影響による化粧品需要の低迷を背景とした受注の減少や後ろ倒しによる売上高の低迷を見込んでおります。第3、第4四半期連結期間については、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展や、2022年に向けた化粧品会社の新商品の取組みを受けた受注回復を想定した増収を見込み、通期の売上高は9,276百万円と前期比1.5%の増収を見込んでおります。一方、利益面では、売上高が低迷する中、吹田工場閉鎖を含む各種コスト圧縮努力等により、営業損失48百万円、経常損失18百万円、親会社株主に帰属する当期純損失101百万円を見込んでおります。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の影響の程度や期間が不透明な中、次期(2022年2月期)連結業績見通しは変動する可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループでは、資本効率の向上と株主の皆様への利益還元を経営における重要課題の一つとして認識し、継続的かつ安定した配当を実現することを基本方針として、業績の伸展状況に応じて利益配分を行ってまいります。

当連結会計年度末の配当につきましては、親会社株主に帰属する当期純損失を計上いたしますので、従来予想の通り、無配とさせていただきます。次期(2022年2月期)期末の配当につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響が先行き不透明な中、上記の連結業績見通しのとおり親会社株主に帰属する当期純損失を見込んでいることから、誠に遺憾ながら、無配を予定させて頂いております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	835,346	1,078,582
受取手形及び売掛金	2,226,476	1,504,068
電子記録債権	184,547	125,004
商品及び製品	781,889	755,809
仕掛品	225,882	164,377
原材料及び貯蔵品	1,091,774	943,818
その他	385,190	147,716
流動資産合計	5,731,107	4,719,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,683,075	10,173,062
減価償却累計額	△4,572,384	△4,915,046
建物及び構築物(純額)	5,110,690	5,258,016
機械装置及び運搬具	4,235,445	4,649,757
減価償却累計額	△2,777,278	△3,022,116
機械装置及び運搬具(純額)	1,458,167	1,627,640
工具、器具及び備品	967,921	1,048,155
減価償却累計額	△647,258	△734,582
工具、器具及び備品(純額)	320,663	313,573
土地	1,301,018	2,155,986
建設仮勘定	345,820	126,652
有形固定資産合計	8,536,360	9,481,869
無形固定資産		
投資その他の資産	369,111	372,306
投資有価証券	442,277	491,338
その他	526,596	493,823
貸倒引当金	△81,065	△7,966
投資その他の資産合計	887,809	977,195
固定資産合計	9,793,280	10,831,371
資産合計	15,524,388	15,550,749

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	695,734	371,459
電子記録債務	897,714	447,214
短期借入金	1,451,650	1,855,408
リース債務	100,724	94,714
未払金	791,453	432,964
賞与引当金	78,608	41,166
その他	347,726	305,053
流動負債合計	4,363,612	3,547,981
固定負債		
長期借入金	6,450,007	8,099,696
リース債務	563,564	481,344
役員退職慰労引当金	146,430	146,430
退職給付に係る負債	64,242	70,121
その他	10,875	114,472
固定負債合計	7,235,119	8,912,064
負債合計	11,598,732	12,460,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,104	714,104
資本剰余金	943,209	943,209
利益剰余金	2,121,719	1,220,652
自己株式	△3,857	△3,857
株主資本合計	3,775,176	2,874,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,604	254,893
為替換算調整勘定	△72,125	△38,299
その他の包括利益累計額合計	150,479	216,593
純資産合計	3,925,655	3,090,703
負債純資産合計	15,524,388	15,550,749

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	12,207,752	9,143,569
売上原価	10,496,018	8,741,022
売上総利益	1,711,733	402,547
販売費及び一般管理費	1,262,082	1,234,290
営業利益又は営業損失(△)	449,650	△831,743
営業外収益		
受取利息	1,086	2,106
受取配当金	6,998	6,889
受取家賃	2,779	2,736
補助金収入	12,219	285,045
受取保険金	4,300	8,509
雑収入	13,532	23,073
その他	—	12,618
営業外収益合計	40,916	340,979
営業外費用		
支払利息	70,885	98,010
為替差損	13,433	—
支払手数料	695	—
その他	309	183
営業外費用合計	85,324	98,193
経常利益又は経常損失(△)	405,243	△588,958
特別利益		
固定資産売却益	304	—
投資有価証券売却益	4,892	—
特別利益合計	5,196	—
特別損失		
固定資産除却損	6,386	215
減損損失	—	94,102
工場閉鎖損失	—	34,402
ゴルフ会員権評価損	3,300	—
特別損失合計	9,686	128,720
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	400,753	△717,678
法人税、住民税及び事業税	76,045	42,172
法人税等調整額	41,122	88,819
法人税等合計	117,167	130,991
当期純利益又は当期純損失(△)	283,585	△848,670
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	283,585	△848,670

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益又は当期純損失(△)	283,585	△848,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,065	32,288
為替換算調整勘定	△24,847	33,825
その他の包括利益合計	△66,913	66,114
包括利益	216,672	△782,555
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	216,672	△782,555
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	714,104	943,209	1,890,529	△3,857	3,543,986
当期変動額					
剰余金の配当			△52,396		△52,396
親会社株主に帰属する当期純利益			283,585		283,585
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	231,189	—	231,189
当期末残高	714,104	943,209	2,121,719	△3,857	3,775,176

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	264,670	△47,277	217,392	3,761,379
当期変動額				
剰余金の配当				△52,396
親会社株主に帰属する当期純利益				283,585
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△42,065	△24,847	△66,913	△66,913
当期変動額合計	△42,065	△24,847	△66,913	164,276
当期末残高	222,604	△72,125	150,479	3,925,655

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	714,104	943,209	2,121,719	△3,857	3,775,176
当期変動額					
剰余金の配当			△52,396		△52,396
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△848,670		△848,670
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△901,066	—	△901,066
当期末残高	714,104	943,209	1,220,652	△3,857	2,874,109

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	222,604	△72,125	150,479	3,925,655
当期変動額				
剰余金の配当				△52,396
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△848,670
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	32,288	33,825	66,114	66,114
当期変動額合計	32,288	33,825	66,114	△834,952
当期末残高	254,893	△38,299	216,593	3,090,703

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	400,753	△717,678
減価償却費	612,085	812,745
減損損失	—	94,102
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,470	△37,441
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,000	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,499	3,422
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,200	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,134	△72,917
受取利息及び受取配当金	△8,085	△8,996
支払利息	70,885	98,010
ゴルフ会員権評価損	3,300	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,892	—
固定資産売却損益(△は益)	△304	—
固定資産除却損	6,386	215
売上債権の増減額(△は増加)	△108,655	794,962
たな卸資産の増減額(△は増加)	△163,850	246,154
仕入債務の増減額(△は減少)	42,366	△783,546
未払金の増減額(△は減少)	△957	△329,460
未払消費税等の増減額(△は減少)	△158,755	320,393
その他	△2,075	80,961
小計	655,106	500,929
利息及び配当金の受取額	8,060	7,898
利息の支払額	△71,976	△97,880
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△213,756	△5,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,435	405,520
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△80,000	△80,000
定期預金の払戻による収入	100,783	80,000
有形固定資産の取得による支出	△3,063,263	△1,902,917
有形固定資産の売却による収入	304	—
無形固定資産の取得による支出	△115,673	△66,840
投資有価証券の取得による支出	△2,516	△2,535
投資有価証券の売却による収入	6,588	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△24,282	△1,662
長期貸付けによる支出	△46,811	△113,440
長期貸付金の回収による収入	1,674	10,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,223,196	△2,077,124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△485,533	75,640
長期借入れによる収入	5,703,151	3,460,232
長期借入金の返済による支出	△1,939,064	△1,508,397
自己株式の取得による支出	△3	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△42,290	—
リース債務の返済による支出	△103,576	△101,849
配当金の支払額	△52,151	△52,637
その他	△145,868	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,934,663	1,872,988
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,853	3,627
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	87,047	205,012
現金及び現金同等物の期首残高	667,497	754,545
現金及び現金同等物の期末残高	754,545	959,557

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に化粧品等を生産しており、国内においては当社が、仏国においてはテプニエ社が、取り扱う製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」及び「仏国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,852,270	2,355,482	12,207,752	—	12,207,752
セグメント間の内部売上高又は 振替高	103,991	27,108	131,099	△131,099	—
計	9,956,261	2,382,590	12,338,852	△131,099	12,207,752
セグメント利益	303,958	140,022	443,981	5,669	449,650
セグメント資産	13,881,111	2,776,879	16,657,990	△1,133,602	15,524,388
その他の項目					
減価償却費	479,681	132,404	612,085	—	612,085
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	3,365,684	399,402	3,765,087	—	3,765,087

(注) 1. セグメント利益の調整額5,669千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント資産の調整額△1,133,602千円は、セグメント間の連結調整の影響額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,771,498	2,372,071	9,143,569	—	9,143,569
セグメント間の内部売上高又は 振替高	70,541	560	71,102	△71,102	—
計	6,842,040	2,372,632	9,214,672	△71,102	9,143,569
セグメント利益又は損失(△)	△964,811	123,574	△841,237	9,494	△831,743
セグメント資産	13,904,683	2,547,934	16,452,618	△901,868	15,550,749
その他の項目					
減価償却費	673,690	139,055	812,745	—	812,745
減損損失	94,102	—	94,102	—	94,102
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	1,438,041	360,934	1,798,976	—	1,798,976

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額9,494千円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント資産の調整額△901,868千円は、セグメント間の連結調整の影響額であります。
 3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり純資産額	1,873.06円	1,474.67円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	135.31円	△404.93円

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	283,585	△848,670
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	283,585	△848,670
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,095,856	2,095,856

(重要な後発事象)

該当事項はありません。